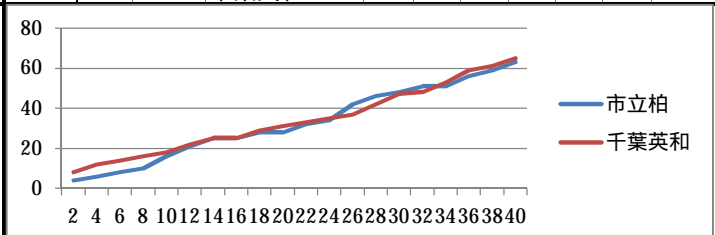
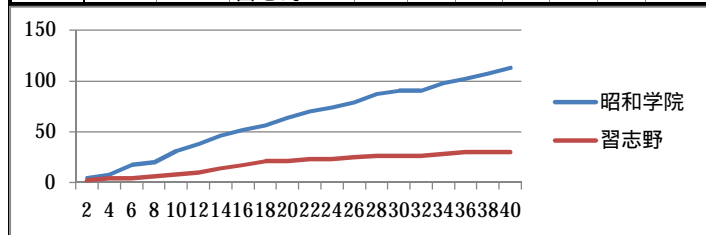


ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その1

2014/6/21

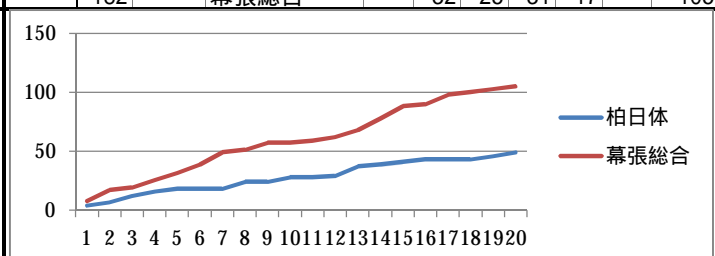
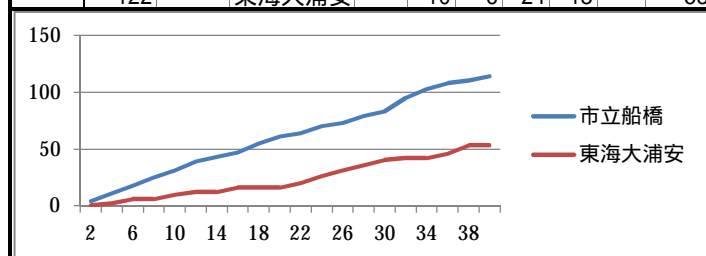
Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A5	201	女 昭和学院	31	33	26	23		113	B5	261	女 市立柏	16	12	20	15		63
	241		習志野	8	13	5	4			30		282	千葉英和	18	13	16	18



第1シード昭和学院と第4シードの習志野の対戦。両チーム共にディフェンスはマンツーマンディフェンスでスタート。両チームとも静かな立ち上がりを見せる。昭和学院は#7の3Pからはじまり、インサイドが#12を軸に多彩なオフェンスを展開する。しかし、習志野は5分過ぎたところでインターハイ出場を考えメンバーを全員変更する。昭和学院が第1Pで31-8とリードしたところでメンバーを変更。そのまま大きな展開もなく試合終了。昭和学院が113-30と圧勝した。

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。英和の堅守に柏は得点が伸びない。英和は速攻で着実に加点、対し柏は残り5分6-14のところゾーンディフェンスに切り替え追い上げる。2Q残り6分で柏が#6の速攻で25-25の同点に追いつく。柏の#9の3Pで逆転するが最後に英和の連続得点で再逆転で前半終了。3Qは一転して点の取り合い。抜け出したのは市立柏。#6#7#8の連続得点で44-37とリードした。残り3分で英和タイムアウト。ゾーンプレスに切り替えて追い上げる。#14の2本の3Pで1点差、#4のシュートで逆転したが、柏の#6が最後にフリースローを決め1点柏リードで終える。4Qはシーソーゲームの見ごたえのある展開。最後まで勝負の行方が分らなかったが残り3分に逆転した英和が粘る柏の振り切った。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A6	101	男 市立船橋	31	30	23	30		114	B6	142	男 柏日体	18	10	13	8		49
	122		東海大浦安	10	6	24	13			53		182	幕張総合	32	25	31	17



順当に勝ち上がってきた市立船橋と接戦を制して勢いに乗る東海大浦安の対戦。お互いにハーフコートマンツーマンで試合開始。開始早々、市立船橋#7の1対1を中心に加点していく。対する東海大浦安は市立船橋の激しいディフェンスに苦しみ点数を伸ばすことができない。市立船橋が点差を広げていく中、東海大浦安は全員メンバーチェンジし主力を休ませる。試合はそのまま市立船橋が61-16の大量リードで前半終了。後半も市立船橋が余裕の試合運びで114-53で圧勝した。終始、主力を温存し次戦に備えた東海大浦安の戦いが楽しみである。

幕張総合は1対1の崩しから#6、#7らが正確なジャンプシュートを決め、リードを奪う。対する柏日体は#7のインサイドにボールを集め着いて行く。2Q幕張総合は堅い守りから速攻などをリズムよく攻め着実に加点していく。柏日体は守りをゾーンに切り替え抵抗するも幕張総合は落ち着いて攻め、29点リードした。後半、選手を全員交代した柏日体に対し幕張総合は攻撃の手を緩めず点差はどんどん広がっていく。幕張総合が圧勝しインターハイ出場に近づいた。